

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	福岡県	事業実施主体	福岡県、八女市	地域再生計画名	八女市みどりの森が輝くまち活性化計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	八女市 企画政策課		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	利用区域内森林整備率（累計）	7.2%	H26	12.0%	H30	39.5%	17.0%	R2	49.2%	○	3 2	市道及び林道の整備、計画的な森林保全整備の推進、並びに森の担い手対策などの施策の効果により目標値を達成できた。
	指標2	利用区域内素材生産量（累計）	8,250m <sup>3</sup>	H26	14,100m <sup>3</sup>	H30	66,200m <sup>3</sup>	19,700m <sup>3</sup>	R2	89,100m <sup>3</sup>	○		市道及び林道の整備、林業施業の機械化の促進による、伐採、運材の低コスト化と集約化施業による生産体制の整備により目標値を達成できた。
	指標3	孤立集落戸数	39戸	H26	16戸	H30	39戸	0戸	R2	23戸	△		豪雨による迂回路上の林道の災害通行止め、林道2路線の進捗の遅れもあり、現状では目標値を下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	木材共販所等までのアクセス改善 星野地区から八女木材共販所まで	50分	H27	45分	H30	50分	40分	R2	45分	-	/	林道整備の効果により木材共販所等へのアクセス改善につながった。
		木材共販所等までのアクセス改善 星野地区から大分県日田市まで	60分	H27	55分	H30	60分	50分	R2	55分	-		市道及び林道整備の効果により木材共販所等へのアクセス改善につながった。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (H30)	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備量、事業量）		5,394m	780m	2,020m	計画整備量には至っていないが、特に整備が必要な区間の工事が完了したことにより、木材生産ルートへのアクセス改善につながったと考えている。							
	林道整備事業（整備量、事業量）		8,589m	5,078m	8,119m	木浦線の全線開通により、森林整備及び素材生産活動の促進が図られ、生産量が増加した。ほか2路線については、自然災害等の影響により完了には至らなかったが、整備済み区間の森林整備が促進されたことにより、地域林産業の基盤強化と森林の再生による活性化につながったと考えている。							
その他の事業	荒廃森林再生事業		公益的機能が十分に発揮できる緑豊かな森林を次世代に引き継ぐため、荒廃森林等の整備（間伐等）を行う			森林が持つ公益的機能の長期的な発揮に向け、荒廃の恐れのある森林の間伐・除伐を実施することができた。							
	森林整備加速化・林業再生事業		条件不利な森林の林内路網整備と高性能林業機械の導入を支援			林業施業の機械化を促進し、伐採、運材の低コスト化と集約化施業により林産業の振興を図ることができた。							
	森林環境保全整備事業		面的にまとまって計画的に行う搬出間伐等の森林施業、作業道開設を支援			間伐・除伐・下刈・植栽等の施業、作業道開設に対し補助支援を行い、林業経営の基盤となる森林資源の計画的な保全整備を推進することができた。							
	森の担い手対策事業		森の担い手の確保及び強化を図るための支援事業を実施する			社会保険等の加入促進事業、林業労働者育成事業を実施し、林業労働力の確保並びに林業従事者の技術技能の資質の向上を図ることができた。							
	八女の森とまちによる環境型まちづくり事業		八女の伝統工芸技術を生かした八女産材の新商品の開発等により、林業振興と伝統工芸の活性化を図る			八女産材の販路拡大の促進や伝統的建造物群保存地区への八女産材活用に向けた施策につなげることができた。							
計画外で独自に実施した事業													
④評価方法	八女市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法	八女市林業振興課ホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道と林道の一体的な整備を実施し、木材生産ルートへのアクセス改善が図られ、その効果により地域林産業の活性化、さらには災害時の迂回路の確保により地域住民等の安全・安心につながり、災害時における孤立への不安等の払拭に貢献できたと考えている。一方、自然災害等の影響により、林道2路線の整備が完了しておらず、整備済み区間の森林整備の促進は図られたが、木材生産ルートへのアクセス改善や災害時等の輸送路の改善についての目標が達成できていないことから、林道整備事業の継続は必須と考えるが、自然災害等の影響もあり完了には期間を要する見込みである。												
⑦今後の方針等	市道と林道の一体的な整備を実施したことにより、今後も森林整備の促進や生産活動の向上が見込まれることから、引き続き、林産業の基盤強化と森林の再生による活性化を図るための取り組みを推進していきたい。また、自然災害等の影響により完了に至っていない路網整備についても引き続き事業を推進していくことにより、地域の更なる活性化並びに安全・安心に寄与していきたいと考えている。												